

北信建設事務所 道路事業による整備効果

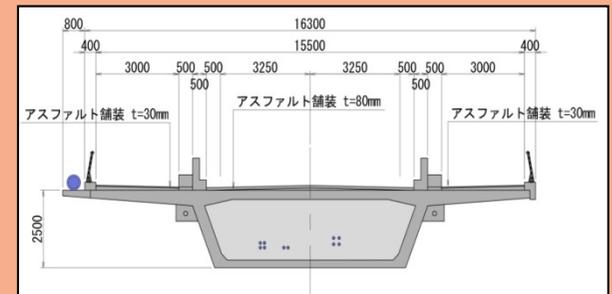
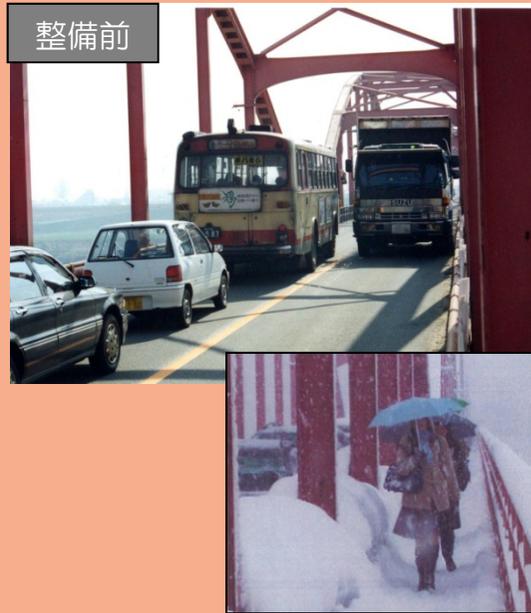
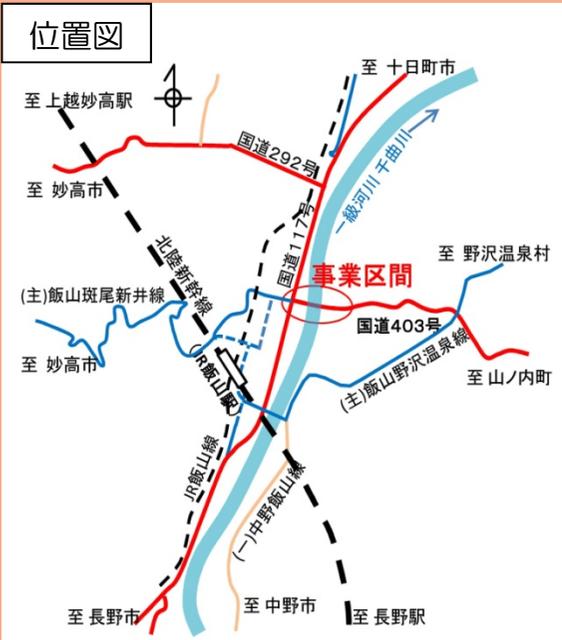
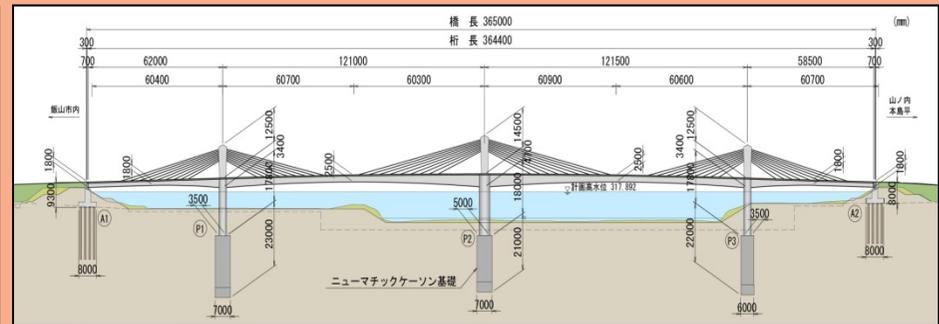
(国)403号 ^{いいやまし}飯山市 ^{ちゅうおうはし}中央橋架替 (社会資本整備総合交付金 (道路) 事業他)

- 国道403号の中央橋は一級河川千曲川を挟んだ飯山市の東西を結び、平成27年3月開業の北陸新幹線飯山駅と周辺市町村(観光地)や緊急輸送路の国道117号を結ぶ幹線道路であり地域生活に密着した橋梁である。
- 旧橋は昭和31年架設の老朽橋で、幅員狭小により交通渋滞、歩行者等の安全な通行が確保されていない。
- 平成21年度より橋梁の架替事業に着手し平成26年12月供用を開始した。



事業概要 県下道路橋初のエクストラード橋

事業延長 L=815m(橋梁部365m)
 標準幅員 15.5m
 (車道:6.50m 2車線 歩道:3.0m × 2 両側)
 事業着手 平成21年度
 平成26年12月完成供用



北信建設事務所 道路事業による波及効果

(国) 403号 いいやまし 飯山市 ちゅうおうはし 中央橋架替 (社会資本整備総合交付金 (道路) 事業他)

【安全・安心な交通環境整備】

- ①整備橋梁の構造変更により冬期間における通行車両の安全性向上と維持管理費の低減
[雪庇による補償件数]
過去3年間 (H23~H25) 4件→0件
- ②橋梁部へ右折車線設置され安全な交差点通行が可能 (右折時間規制が解除、時間短縮2分)
- ③橋桁下が高くなり、安全に洪水流下が可能



【交通網整備による効果】

- ④北陸新幹線飯山駅から信越自然郷 (広域観光圏) 各地とのアクセスが強化され観光が活性化
- ⑤農業施設の立地 ファームス
国道沿線に「農の拠点施設：FARMUS 木島平」の立地 (道の駅認定予定)



【地域生活環境の向上】

救急医療活動、消防防災活動の円滑化 (飯山赤十字病院、岳北消防本部等へのアクセスが向上)

